



都市間競争に打ち勝つ 強固な綾瀬市をつくります

25年度施政方針要旨

笠間市長は、2月27日の定例市議会で25年度の市政に対する所信と主要施策を示しました。施政方針の全文は、情報公開コーナーや市ホームページで閲覧できます。

5. 圃政策経営課 70・563

25年度は、これまで取り組んできた「元気の力」「産業の力」「教育文化の力」「環境の力」「安全・安心の力」という5つの力をさらに高め「あやせ力」として結集するとともに、プラス1の力として「行革・協働」に取り組み、都市間競争に打ち勝つことができる強固な綾瀬市をつくっていきます。

① 元気の力

少子高齢化の進展を踏まえ、将来を見据えた多様なニーズに対応できる福祉拠点施設の整備に着手するほか、健康づくり、子育て支援、障害者・高齢者福祉などを推進し、人に優しく、心身ともに健康なまちづくりを進めます。

② 産業の力

農地再生や新産業拠点の創出に向け、新たな施策を推進するとともに、中小企業支援や都市基盤整備に積極的に取り組み、地域経済などの活性化を進めます。

③ 教育文化の力

子どもたちが人を思いやり、社会を生き抜く力を身に付けられるよう、学校教育

を充実させるとともに、市民が生きがいと誇りを持てるよう、生涯学習施策を推進します。

④ 環境の力

景観保全や公園整備のほか、東日本大震災以降、これまで以上に関心が高まっている再生可能エネルギーの活用を推進するとともに、ごみの減量化などに引き続き取り組み、環境に優しいまちづくりを進めます。

⑤ 安全・安心の力

東日本大震災に学び、消防を含めた防災対策を推進するほか、市民の日常を守る防犯対策や、長年の課題である基地対策に取り組み、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

⑥ プラス1の力

5つの力に加えて、プラス1の力として「行革・協働」に継続して取り組みます。

飛躍の年に

市長3期目の4年間には市民本位の行政をさらに力強く推進し、持続可能な都市経営の確立と活力ある魅力的なまちづくりの実現に向け、市を大きく「飛躍」させる時と位置付けました。誠実奉仕の心を忘れず、私が先頭に立ち、使命を持って無限の可能性を追求するために、全職員一丸となって、将来都市像「緑と文化が薫るふれあいのまち あやせ」の実現に、努力することを誓います。

主な事業と予算額

元気の力 (福祉、医療)

病児・病後児保育への助成 100万円

保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病児回復期の児童を預かる事業の開設費用を助成します。上限1施設 100万円。

こどものまち「ミニあやせ」の開催 36万円

子どもたちの主体性、協調性、創造性を育てるため、子どもたちが自ら企画運営する「擬似的な社会体験」の場を提供します。来年3月開催予定(2日間)。市内小学生～高校生対象。

がん検診の充実 2,927万円

乳がん検診を充実強化するため、30歳代の方を対象により精度の高いエコー検診を実施します。受診率向上のため、乳・子宮がんの日曜検診のほか、胃・肺・大腸・乳・子宮がん検診を同時受診できる日を設けます。

産業の力 (農・商・工業)

工業系新市街地の整備 7,675万円

(仮称)綾瀬インターチェンジや周辺広域道路ネットワークの整備に伴う交通ポテンシャルの向上を有効に活用し、新規立地企業を誘致するため、受け皿となる新たな工業系市街地整備に向けて市街化区域編入、土地区画整理事業に着手できるよう関係機関との協議を開始します。

(仮称)綾瀬インターチェンジ関連事業 2億2,738万円

29年度までの供用開始を目指し、事業主体となるNEXCO中日本や県との連携を強化するほか、市道325号線・933-1号線や代替地の整備など市の関連事業を推進します。

(仮称)あやせ商業者パワーアッププロジェクトの展開 300万円

市内商業の活性化を図るため、ワークショップや新商品開発を通して若手商業者を育成するとともに、地域資源の魅力発信により「シティプロモーション」につなげます。

教育文化の力 (教育、文化、スポーツ)

神崎遺跡の保存整備 1,426万円

国史跡神崎遺跡を将来にわたり保存し広く活用するため、遺跡公園として整備します。25年度実施設計、26・27年度整備工事。

土曜まなび場の増設 397万円

学習意欲を育て、家庭学習を習慣化するため、自ら学ぼうという意欲を持つ小学生に対し、土曜日に学習の場を提供します。会場を2カ所から4カ所に増設します。原則第1・3土曜日9時30分～11時30分、中村地区センター・北の台地区センター・南部ふれあい会館・寺尾いずみ会館。小学2～6年生対象。



環境の力 (環境、みどり)

綾瀬スポーツ公園の整備 5,117万円

厚木基地南側の国有地を利用して、市民の憩いの場やレクリエーションの場を提供するため、多様なスポーツ施設を配置した綾瀬スポーツ公園を整備します(19～26年度)。25・26年度は交流広場など。



省エネ・蓄エネ設備などの設置助成 195万円

家庭でのエネルギー有効利用を促進するため、家庭用燃料電池(エネファーム)、リチウムイオン蓄電池、電気自動車用充電器の設置に1件当たり5万円を助成するほか、家庭でのエネルギー管理システムであるHEMSの設置に1件当たり1万円を助成します。

安全安心の力 (防災、防犯、消防)

防災対策総合ガイドの全戸配布 232万円

市民の防災対策を強化し、災害時の被害を少なくするため、地域防災計画の見直しを反映させた防災対策総合ガイドを作成し、全戸配布します。

消防指令業務の広域化 1億1,681万円

消防救急体制の強化・経費削減・効率化を図るため、海老名・座間市と3市で広域運営する共同指令センターを建設します。27年4月運用予定。



寺尾いずみ会館飛散防止フィルムの設置 579万円

災害時の利用者の安全の確保と二次避難所としての機能を強化するため、窓ガラスに飛散防止フィルムを設置します。

プラス1の力 (行革、協働)

市民活動センターあやせ実施事業の企画運営の民営化 114万円

市の市民活動をより活発化するため、ノウハウを持つ市民活動団体に活動センター事業の企画・運営を委託します(行政提案型協働事業)。